

学校建築のこれから



流山市立おおたかの森小・中学校 ©Makoto Yoshida

2023年12月16日(土) 13:30 ~ 17:00 (開場 13:00)

会場：関東学院大学横浜・関内キャンパス 1204 教室

基調講演：赤松佳珠子氏

(CAT パートナー、法政大学教授、
神戸芸術工科大学客員教授、日本学術会議連携会員)

基調講演

13:30 ~ 15:00

建築家の赤松佳珠子氏をお招きし「地域とともにある学校建築の可能性」について講演いただきます。

デザインレビュー

15:10 ~ 16:10

JIA 神奈川の会員が横浜市のプロポーザルを経て選定された3校の小学校の改修についてデザインレビューします。

シンポジウム

16:10 ~ 17:00

学校建築が地域で果たす役割、社会の中での位置付け、新しい教育への試みなど、学校建築の未来について議論を深めます。



横浜市立都岡小学校

©SANEI Art Works



横浜市立汐見台小学校

©Archishop studio



横浜市立上菅田笹の丘学校

©コンテンポラリーーズ

主催：(公社)日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会 (JIA 神奈川)

後援：神奈川県※予定、横浜市建築局、(一社)神奈川県建築士会、(一社)神奈川県建築士事務所協会、(一社)神奈川県建築安全協会

協力会：アイオーシー(株)、石井造園(株)、(株)市川屋、SD Lighting (株)、(株)エフワンエヌ南関東支店、岡田産業(株)、(株)角藤、(株)神奈川ナブコ、川本工業(株)、元旦ビューティ工業(株)、(株)カンディハウス横浜、キハラ(株)、(株)建築資料研究社、(株)コロラボ、神島化学工業(株)、(株)サクラ、(株)サムシング、三協立山(株)三協アルミ社、三興商事(株)、(有)サンテック、JFE 建材(株)、Sto Japan (株)、(株)総合資格、高島屋スペースクリエイツ(株)、田島ルーフィング(株)、DN ライティング(株)、(株)東京工営、東芝エレベータ(株)、(株)時久組、ナイス(株)、(株)ニッシンイクス、日本プラスター(株)、(株)ハーフェレジャパン、(株)ピアレックス・テクノロジーズ、ピーエス工業(株)、(株)富士、扶桑電機(株)、文化シャッター(株)、星通商(株)、Matt & Massimo (同)、(株)三好商会、横浜エレベータ(株)、横浜ビル建材(株)、(株) LIXIL ビル事業本部ビル神奈川営業所、YKKAP (株)

会友：(株)港栄建設、(株)キクシマ、ヒロ・タテシオフィス

学校建築のこれから

私ども JIA 神奈川地域会では「JIA 神奈川建築フォーラム」と称し建築やまちづくりなどについて見聞を深めたく、これまでに5回の講演会&シンポジウムを開催して参りました。6回目を迎える今回の第一部では建築家の赤松佳珠子さんをお招きします。赤松さんは現在長野県の NDS プロジェクト（長野スクールデザイン）に関わっておられ、学校や教育のあり方を根本から問い直す試みをされています。これまで数多くの学校建築に関わってこられた赤松さんだからこそ今語れる「学校建築のこれから」を皆様と考える機会を共有させていただければ幸いです。

公益社団法人日本建築家協会 JIA 神奈川代表 柳澤 潤



1 基調講演 13:30 ~ 15:00

地域とともにある学校建築の可能性

赤松 佳珠子

(CAat パートナー、法政大学教授、神戸芸術工科大学客員教授、日本学術会議連携会員)



©ToLoLo studio

1990年日本女子大学家政学部住居学科卒業後、シーラカンズ（のちのC+A、CAat）に加わる。2002年よりパートナー。2013年より法政大学デザイン工学部准教授、2016年より同教授。現在、CAat パートナー、法政大学教授、神戸芸術工科大学客員教授、日本学術会議連携会員。

また、長野県県立学校学習空間デザイン検討委員会座長、長野スクールデザインプロジェクト（NSD プロジェクト）委員長、文部科学省・学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「新しい時代の学校施設検討部会」委員等を務める。

主な作品に、流山市立おおたかの森小中学校・おおたかの森センター・こども図書館、山元町役場、共愛学園前橋国際大学5号館 KYOAI GLOBAL GATEWAY など。渋谷ストリームのデザインアーキテクトをつとめる。主な受賞に、日本建築学会賞（作品）、日本建築家協会賞、村野藤吾賞、BCS 賞、AACA 賞など。

2 デザインレビュー 15:10 ~ 16:10

第二部では JIA 神奈川地域会3名の会員による、横浜市の小学校建築のデザインレビューを行います。横浜市では2017年以降、大規模な小中学校の建て替えが進んでいます。その初めの3校の小学校が本年度に竣工し徐々に開校されています。横浜市でのプロポーザルを経て選定された初めの3校を設計した建築家がどのようなプロセスを経て作り上げてきたのか、また地域とのかかわり方などはどのように進めているのかなど、「地域に開かれた建築」としての小学校とはいかなるものなのか、皆様と議論を深めたいと思います。

横浜市立都岡小学校
八坂 晋太郎（八坂建築設計事務所）



横浜市立汐見台小学校
飯田 善彦（アーキシップスタジオ）



横浜市立上菅田笹の丘学校
柳澤 潤（株式会社コンテンポラリーズ / 関東学院大学建築・環境学部教授）



3 シンポジウム 16:10 ~ 17:00

第三部のシンポジウムでは赤松さんと3人の横浜の建築家に加え、建築家に発注する側から、横浜市建築局の寺口達志氏を交えて、まさに「これからの学校」のあり方を議論したいと思います。

公共建築の中でも学校建築というのはこどもたちの心の拠り所でもありこどもたちが初めて空間を意識する重要な建築でもあるかと思えます。学校建築が地域で果たす役割、また社会の中での位置づけ、新しい教育への

試みなど話題は尽きませんが、今回は赤松さんや横浜で学校建築を設計することの意味や役割を問いかける建築フォーラムにしたいと思います。



寺口達志
(横浜市建築局公共建築部 学校整備課長)

【総司会】
田井 幹夫（アーキテクトカフェ・田井幹夫建築設計事務所）



© 渡川敏

申込方法

会場参加：定員 50名
オンライン参加：定員 500名
※先着順、定員になり次第締め切りと致します。



フォーラム専用

懇親会：定員 80名
会場：BACON Books & café（フォーラム開催会場の地下1階）
※先着順、定員になり次第締め切りと致します。
参加費：6,000円程度



懇親会専用

JIA 神奈川建築フォーラム
2023 特設サイト



会場案内

関東学院大学横浜・関内キャンパス
1204 教室（12階）

横浜市中区万代町 1-1-1（JR 関内駅南口駅前）

公益社団法人 日本建築家協会
関東甲信越支部神奈川地域会（JIA神奈川）

横浜市中区不老町1-1-1 守谷ビル9階

TEL:045-663-2745

E-mail:kanagawa@jia-kanto.org HP:www.jia-kanto.org/kanagawa/

